

授業科目	教育における ICT 活用				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	若菜 啓孝										
授業概要	<p>教育現場における ICT（情報通信技術）の活用について、その歴史的経緯、現状、今後の方向性を理解する。授業における生徒および教員による ICT 活用の他、授業の準備、学習評価に関する活用、校務に置ける活用や教育データの活用を取り上げる。また、情報社会を生きていくための資質・能力である情報活用能力について、その構成要素および具体的な指導法、教育課程上の位置づけについて解説する。本科目では、講義および視聴覚資料（OCW, MOOC など）による解説・事例紹介と、学生自身が各種 ICT 機器、環境を活用し、体験的に学修する機会（演習）を設けることを基本とする。</p>										
授業形態	講義・演習		授業方法	反転授業＋演習							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>『教育における ICT 活用』では、ICT を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方ならびに生徒に情報活用能力および情報モラルを育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身につけることを目指す。さらに、令和の日本型教育に対し、その教育における情報化の過去・現在・未来について理解を深める。当科目の達成目標は、以下の3つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育現場における ICT 活用の意義や理論について理解することができる。（DP1-1） 2. ICT を活用した学習指導や校務の実際と今後の在り方について理解することができる。（DP1-1） 3. 情報活用能力を育成する意義および育成方法を身につけることができる。（DP4-2） <p>上記 1. ～3. を全て達成することができる。</p>										
理想的レベル	標準的レベルの1から3の全てを達成した上で、常に自らの課題を見つけ、その課題に積極的に取り組んでいくことができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験											
小テスト	20%										
レポート	50%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	30%										
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	EN14109J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
本時の復習・次回範囲の予習（OCW, MOOC などの活用）										4	
授業計画											

第1回	第1回：オリエンテーション・現代社会における ICT の役割と導入
第2回	第2回：教師の ICT 活用指導力と先端技術とデジタルコンテンツの活用
第3回	第3回：個別最適な学びと対話的な学びを深める ICT の活用と遠隔授業
第4回	第4回：教育における ICT 活用の実践例 (実) ICT を活用した模擬授業の考案と実践
第5回	第5回：生徒による ICT 活用と校務の情報化の推進 (実) ICT ツールを活用した模擬授業の考案と実践
第6回	第6回：特別支援・幼児教育における ICT 活用 (実) ICT ツールを活用した模擬授業の考案と実践
第7回	第7回：AI 活用と情報モラル・情報セキュリティ (実) AI・ICT ツールを活用した模擬授業の考案と実践
第8回	第8回：「学校教育と ICT」の今後（授業まとめ・発表）
テキスト	授業中に適宜資料を配布する。
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	稲垣忠・佐藤和紀（編著），2021年『ICT活用の理論と実践 DX時代の教師をめざして』，北大路書房。 ISBN：978-4-7628-3180-5 / 本体 2000円＋税 (授業中に適宜紹介)
課題に対するフィードバックの方法	オンラインツールを介して行う
学生へのメッセージ・コメント	日頃から教育に関するニュースや新聞記事に目を通すこと。 日進月歩変化する ICT 技術・AI 技術を知り、教育の最先端知識の習得を心掛けること。 各県や市の教育委員会・教育センターの研修などを活用すること。 授業前に次時の範囲の関連動画を閲覧し、授業後にはツールの操作方法などの復習を行うこと。